

# 田主丸商店街と周辺の特徴を活かしたエリアリノベーション

14TH047 田村 嘉朗

◇背景

自分の生まれ育った町にはどこか懐かしさを無くしている、衰退している、と感じたことがある。それは、自分が小学生時代に商店街を通学路として利用していた時のことである。  
この町には、東樹園、フルーツ狩り、寺院の多さが特徴的で魅力ある要素で溢れている。だが商店街に目を向けるときはヒトと特徴的要素が組み合せてなく、人口構造の変化、空き家空き地問題につながっていると考え、これらの現状を踏まえて私は、この街の住民がこの街の魅力に気づき、各ポイントとなる場所周辺住民にとって快適に過ごせる仕掛けに着目して設計する。

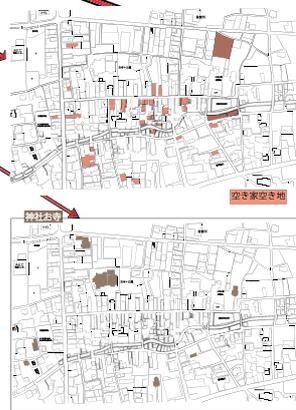
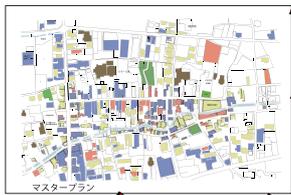
◇敷地

福岡県久留米市田主丸町田主丸



◇商店街と周辺の実態調査

田主丸商店街の通りの写真。レトロな感じだが、和風な雰囲気も感じさせる商店街である。呉服屋、時計屋、住宅兼カフェボックス、チャイルドファッション店、ダンススタジオ、酒店など生活やお出かけする分には機能は揃っている。しかし、建物の欠陥が多く商店街が衰退している象徴にもなっている。



提案

マスタープランから見えてきたそれぞれの特徴的要素をこの町に  
良い影響を与える仕掛けを組み込み、交流できる場所と公園で遊べる  
空間をつくる。



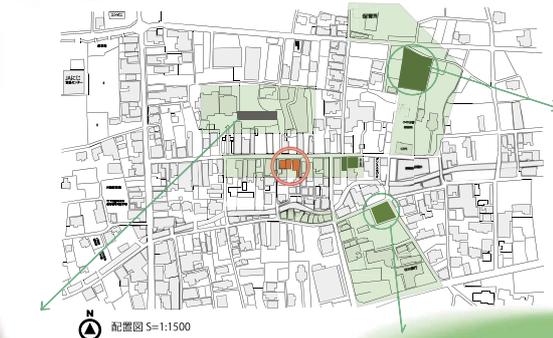
商店街ブロック



花園神社ブロック



法林寺ブロック



配置図 S=1:1500



月読神社ブロック

指導教員講評

この作品は、単に建物を再生する「リノベーション」ではなく、活気を失った商店街とその周辺の複数箇所に手を加える事により、街の再生を目指した「エリアリノベーション」を提案したものである。現地調査・地元住民への聞き込み・住民の生活動線・地域の特徴的要素の分析など、丁寧なサーベイが評価できる。